

平成30年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

嘉麻市立稲築東小学校

学校教育目標		豊かな心と確かな学力、自主・自律の精神を身につけた児童の育成									
経 営 方 針	1 学校経営		2 教育指導								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校務運営組織と分掌間の協力体制の充実による業務効率化と経営参画意識の醸成</li> <li>○ 学力向上プランを実効化する校内研修の推進</li> <li>○ 自己評価及び学校関係者評価の充実による学校評価の有効化(学校改善に活かす学校評価)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の「学ぶ力(基礎学力や学び方、学習意欲、学習規律)」を身につける学習指導の充実</li> <li>○ 児童の「基礎力(生活習慣、規範意識、校内規律)」を身につける「積極的生徒指導」の充実</li> <li>○ 全教育活動を通じた、人権感覚や自他を尊重する心、自主・自律の精神の育成</li> </ul>								
評価項目		具体的方策		成果と課題		自己評価		学校関係者評価		学校関係者評価を踏まえた改善策	
進んで学 び考える 子どもの 育成	わかる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数において複数体制での指導（分割授業・個に応じた指導等）</li> <li>・全教科・領域における校内研修・授業研究の推進</li> <li>・日常の学級訪問の実施及び声かけと価値付けの継続</li> </ul>		重要単元指導体制が定着する。単元テストの結果から、指導体制の見直しや授業改善の充実を図る。学習規律のさらなる徹底		A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ わかる授業づくりの前段として、小中9年間を見通した「授業規律のスタンダード（仮称）」を小中の学力向上委員会が中心となって作成していく。</li> <li>○ 全国学力・学習状況調査後、全職員で結果分析や調査問題を解く研修を実施する。</li> <li>○ NRT検査結果から、来年度の重点学年及び、評定1の児童に対する支援の在り方を見直す。</li> </ul>		
	基礎学力(読み・書き・計算)の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝活動(毎日)1・2年ミム、3~6年宿題解説等の実施</li> <li>・放課後等における補充の実施(担任・専科)</li> </ul>		未習得がある児童への補充、習熟を図る		B					
	校内環境の整備 (掲示物等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育コーナーの充実(学級・学年・全校)</li> <li>・「自学」モデルの掲示と「自学」に対する意欲の喚起</li> <li>・子どもの様子がわかる作品等の掲示</li> </ul>		食育を推進する掲示が充実する。校舎老朽に伴、安全点検と危機管理に努める。		A					
	家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自学がんばり週間」(学期2回)の設定、表彰</li> <li>・家庭学習の具体例を紹介(通信等)し、啓発</li> <li>・家庭でできない児童への支援の充実(担任・専科)</li> </ul>		家庭学習提出率84%。表彰されることで、意欲の向上につながった。個に応じて宿題の量を調整し、達成感を持たせる		B					
豊かな心 を身につ け体力あ るたくま しい子ど もの育成	児童の実態把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめアンケートの実施(毎月)と人権学習の実施</li> <li>・生徒指導委員会と「職員交流」(毎月)の連動実施及び共通理解の場の設定</li> </ul>		1月の人権学習・懇談会の実施で、児童・保護者の人権意識の高揚。事件・事故等の未然防止・初期対応を図る。		A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめアンケートの実施や児童実態交流による未然防止と初期対応を徹底する。</li> <li>○ 面識がある人には挨拶しているようだが、自分から進んで挨拶することがないので、自分から積極的に挨拶できるよう指導していく。</li> <li>○ 隙間読書を推進していくため、学級文庫等の環境作りを行う。</li> </ul>		
	読書活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の委員会活動による取組みで読書意欲の喚起</li> <li>・隙間読書・お話し会・読み聞かせによる読書習慣の定着</li> </ul>		委員会活動、読み聞かせが有効に働く。読書に大切さについて保護者への啓発		B					
	体力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「パワーアップ5」「コオ・トレ」による体力向上</li> <li>・外遊び、スポコン広場による運動意欲の醸成</li> </ul>		全学年コ・トレの実施。各学級で、みんなで遊ぶ日の設定をし外遊びの奨励		B					
	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会による「全校あいさつ運動」の展開(年3回)</li> <li>・体験(あいさつ)とつなが「道徳の時間」の展開</li> </ul>		校内におけるあいさつの輪が広がったが、地域での挨拶は不十分である。		B					
安全・開 かれた学 校づくり	規範意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験・奉仕体験の展開、及び「道徳の時間」の充実</li> <li>・「接遇」「情報モラル」「薬物乱用防止」学習の推進・充実</li> </ul>		ネットによるいじめ、ゲームの時間等について全学年講師による学習の実施		B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全職員で全児童を見ていくというスタンスを継続し、多面的に個に寄り添うきめ細やかな指導を行う。</li> <li>○ 児童の委員会活動による「廊下歩行「時間を守ろう習慣」の実施と振り返りを行う。</li> <li>○ 生徒指導委員会の定例化を図る。(中学校、教育センター参加)</li> </ul>		
	児童の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練、集団下校、防犯教室による危機意識の高揚</li> <li>・通学路(PTA)点検、校内安全点検、交通立哨等の実施</li> </ul>		通学路点検をPTAと行う。関係機関との連携(スクールガードリーダー・学警連等)		A					
	学校の情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校通信(月1)、HP更新、学級通信(全・毎週)の発行</li> <li>・メールによる学校情報(休校等)、不審者情報等の提供</li> </ul>		紙媒体やメールにより、情報を提供する学校の意図が正しく伝わるような工夫・改善		A					
	児童理解に立った指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の家庭訪問・家庭連絡による対応策の構築と実働</li> <li>・「福岡アクション3」に基づいた不登校対応の展開</li> </ul>		市費相談員、担任等の対応を行った。不登校児童は減少にある。		A					
校内組織 運営の充 実	教育目標及び重点目標 を意識した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間1時間の授業を大切にした学力向上プランの推進及び振り返り(毎月毎)</li> </ul>		重点の見直しや具体的な改善策を立て、今後の取り組みに生かす。		B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 評価だけに終わらず、重点の見直しや具体的な改善策を立て、今後の取り組みに生かす。</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクルによるマネジメントの充実(校務分掌・各委員会・各学年会による共通理解)</li> </ul>		運営委員会を経て、職員会議で周知徹底を図り、協働実践を進める。		A					
評価計画等の妥当性								A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も引き続き積極的な教育活動に対する指導をしていく。</li> <li>○ 今後は、人権学習においても互いに連携していける体制づくりに努める。</li> </ul>		
・アンケート等の資料を基に、客観的で適切な評価が行われている。											

A：よい(妥当) B：少しよい(やや妥当) C：やや不十分(やや不適) D：不十分(不適)